

「銭函風力開発建設事業に係わる環境影響評価書案」の概要

〔本資料は、札幌市域の騒音・低周波音・景観に係る影響について科学的検証を行うに当たり、標記評価書案のうち必要な部分について要約したものである。〕

1 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地【掲載：1ページ】

事業者の名称 : 銭函風力開発株式会社
 代表者の氏名 : 松島 聡
 主たる事務所の所在地 : 東京都港区新橋2-5-5

2 対象事業の内容【掲載：2～10ページ】

(1) 対象事業の名称

銭函風力開発建設事業

(2) 原動力の種類

風力発電

(3) 発電所の出力

30,000kW

(2,000kW級風力発電機を15基設置予定)

(4) 対象実施区域

(a) 位置

小樽市銭函4丁目及び5丁目

(b) 計画地点の概要

小樽市は、北海道西海岸のほぼ中央に位置し、日本海特有の変化に富んだ海岸線や緑豊かな山々など、良好な自然環境を有する街である。また、北海道開拓と共に鉄道や港を中心に発展し、明治、大正、昭和初期の繁栄の時代に築かれた歴史的な文化遺産を有する街でもある。

本事業は、右図に示すように、小樽市の東端部、石狩市と隣接した銭函地区の海岸沿いに計画している。



(5) 主要設備の配置計画その他の土地の利用に関する事項

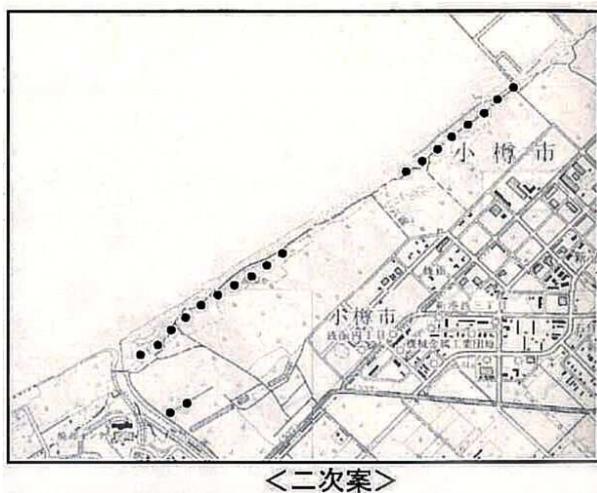
(a) 当初案

海岸沿いの砂丘上に 20 基を設置



(b) 二次案

平成 20 年度より実施した現地調査結果によって確認された貴重な動植物等の生息・生育確認位置及び猛禽類の飛翔頻度が高い場所への影響等を鑑み、事業者として可能な限り影響の少ない配置計画へと変更



(c) 最終案

①新川右岸側に存在する池の周囲の 3 基：廃止

環境調査結果と有識者の意見等を踏まえて動植物等に対する影響を可能な限り低減するため。

②内陸部の 2 基：廃止

環境面の問題はないと考えるが、周辺住宅への心理的な影響などを考慮したため。

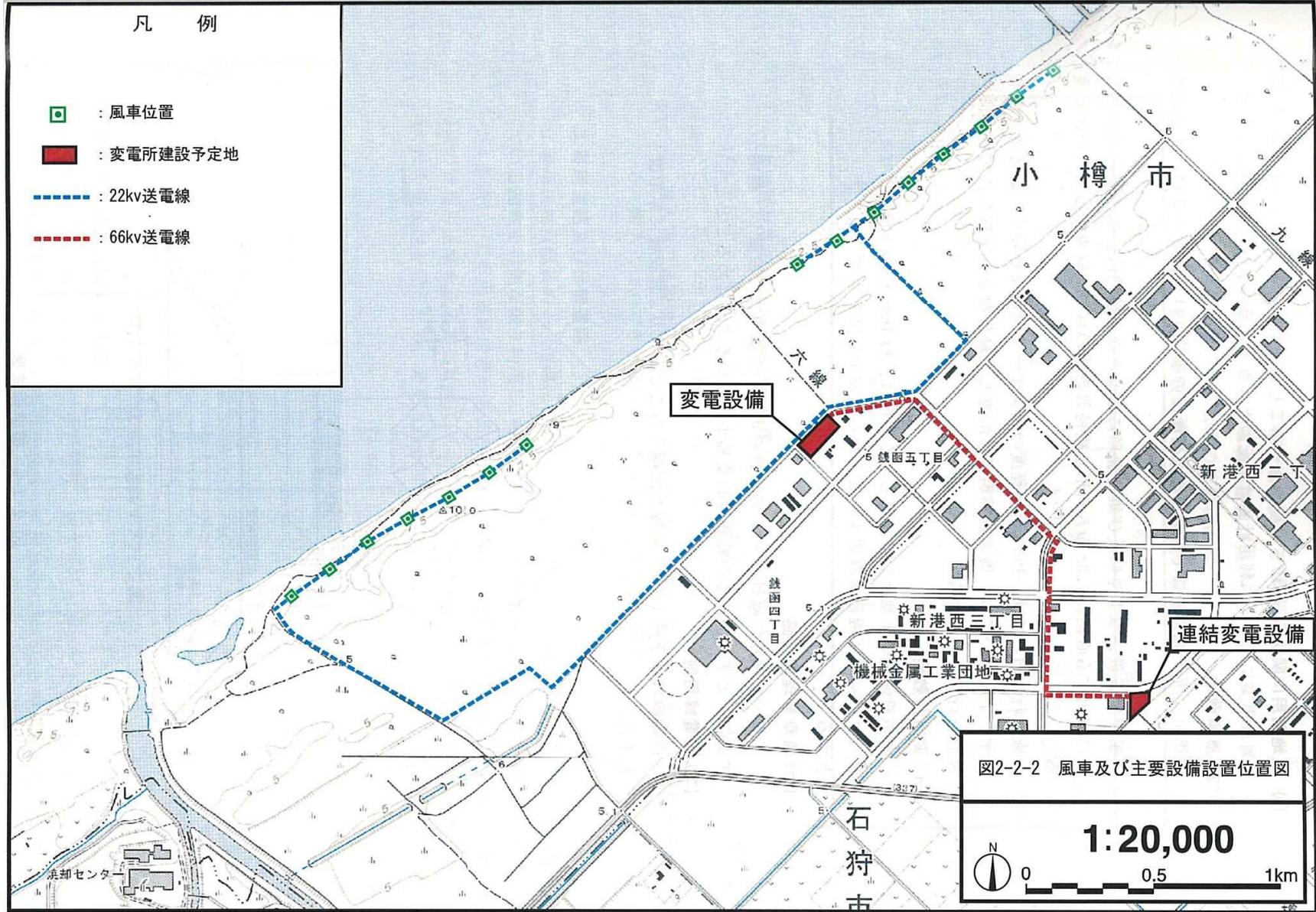
③対象事業により配置される主要設備

風力発電機 : 15 基

変電設備 : 1 箇所

連系変電設備 : 1 箇所

送電線 : 約 10km (22kV : 7,900m 66kV : 2,200m)



(6) 供用開始後の定常状態における操業規模に関する事項

(a) 主要機器等の種類及び容量

総発電量 : 30,000kW
風力発電機 : 2,000kW 級風力発電機
基数 : 15 基
ハブ高さ : 77m
ローター径 : 83.3m

(b) 送電線設備

電圧 : 22kV 及び 66kV
総延長 : 約 10.0km
敷設方式 : 地中に埋設

(c) その他主要な施設等

連系変電設備を 1 箇所建設

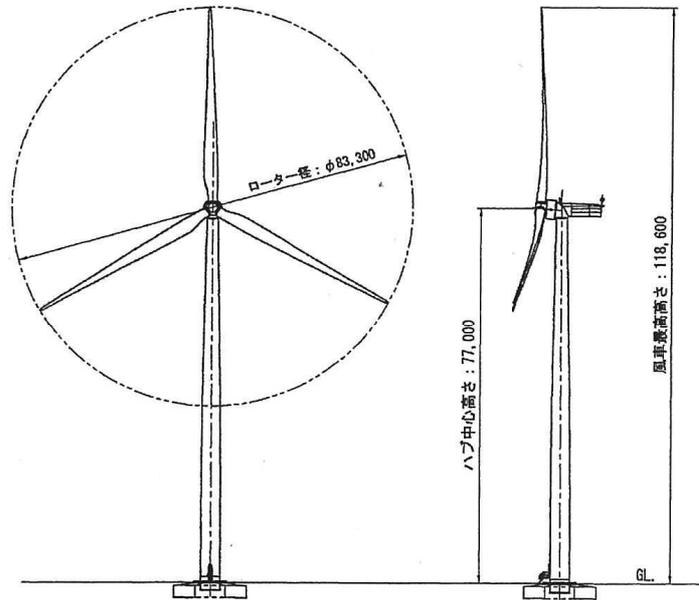


図 2-2-6 風力発電機の概要